

その他の鉱業－その他における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故者の型	労働者規模
2017	6	14～15	構内にて、粉碎機上部を清掃後に機械から降りようとして、階段（高さ60cm）に足をかけたところ、滑って転倒し、後頭部を強打し、脳内出血をした。その際、腰も強打した。	56	413	2	1～9
2017	7	10～11	製品梱包場で梱包作業中に、設備エラーが発生した。状況を確認した方が対応できなかったため、他の作業者に連絡しようと急ぎ足で歩いている途中、フレコンバック横で後ろを振り返った際にバッグの胴帯に左足が入ってしまい、仰向けに転倒した。その際に腰部を床にぶつけたが、ヘルメットを着用しており痛みや外傷はなく、作業を続けた。後日、頭痛のため受診したところ、慢性硬膜下血腫と診断された。	54	416	2	50～99
2017	9	16～17	解体工事の現場内で、フレコンバッグをバックホーで掴む際、フレコンバッグのバランスが悪く、作業員が押さえ手を外したと思いフレコンバッグと手を解体フォークで掴んでしまった。	62	145	7	1～9
2017	12	14～15	鉱過エプロンフィーダ内の鉱石がなくなった為、鉱石投入を行わない信号を送り、エプロンフィーダ内（幅約0.9m、高さ1.5m）の状態確認の為内部へ入った。内部左側から50cm大の鉱石が転がり落ち、ふくらはぎにあたり、衝撃で左膝が捻じれた。	33	523	6	50～99
2017	12	8～9	資材置場にて、前日の雨で地面がぬかるんでいるため、足元に気をつけてゴミの仕分け業務のみを作業するよう指示していたが、被災者	76	169	4	10～

は、1人で線剥き機（銅線等のビニール部を取り外す機械、重さ50～60kg）を移動させようとして、足の上に落として怪我をした。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html